もっと はんのう 市議会

令和8(2026)年2月1日号　No.178

Point

P2　令和7年度飯能市一般会計補正予算（第4号）を可決
P5　第6次飯能市総合振興計画審査特別委員会を設置
P6　15人の議員が一般質問

議案の審議

議案に対し大綱（根本的な事柄）で審議します。

議案等の上程

12月 議会は、11月28日から12月16日までの19日間開かれ、市長提出議案42件、請願１件、議員提出議案２件、その他４件について審議等を行い、**議決**しました。12月議会で議決した主な議案は、次のとおりです。

全ての議案はこちらから

【議案第75号】飯能市地区行政センター条例の一部を改正する条例

問 改正の内容と利用者への影響は？

答 証明書発行業務を午前９時から午後４時30分、貸し館業務である地域活動支援業務を午前９時から午後９時までとし、使用料の区分を午前、午後、夜間の３区分から1時間単位とするもの。また、使用料免除の規定を見直し、これまで免除されている約730団体のうち約650団体が免除から外れると見込んでいる。

【議案第88号】飯能市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 乳幼児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の内容は？

答 令和8年度から全ての自治体で実施する事業で、保育所等に通っていないこともを対象に保育所等の施設で集団生活の機会を提供するもの。保護者の就労要件がないことなどの特徴がある。

【議案第110号】令和7年度飯能市一般会計補正予算（第4号）
・**物価高対応子育て応援手当支給事業**

問 手当の内容は？

答 国が実施する総合経済対策事業の一環として、物価高の影響が長期化する中、その影響を強く受けている子育て世帯を支援し、こどもたちの健やかな成長を応援するため0歳から高校生3年生年代までのこどもに1人当たり一律2万円を支給するもの。

【議案第111号】令和7年度飯能市水道事業会計補正予算（第3号）

問 水道基本料金免除の対象、時期は？

答 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を水道事業会計に繰り入れて活用し、家計や事業者への負担軽減を目的に実施するもの。市民、事業者を対象に令和８年４月の検針分から４か月分の基本料金を免除するもの。

議 決

委員会の審査

各常任委員会に付託され、詳細に審査します。

議案の審議を経て、議案は３つの**常任委員会**に付託され、詳細に審査しました。

総務教育委員会

委員長　武田　一宏
副委員長　新井　巧
委　員　山口　則弘
岩田　隆弘
坂井　悦子
中元　太
椙田　博之

令和７年度飯能市一般会計補正予算（第３号）

問 小学校学校管理費の内容は？

答 寄附金及び一般財源を原資として、加治小学校にフェンス門扉を設置する工事を行うもの。

飯能市消防団条例の一部を改正する条例

問 休団制度の内容は？

答 家族の介護、出張などやむを得ない理由により3年を超えない範囲内で活動を休止することができるもの。出産、育児の場合、女性団員だけでなく男性団員も対象となる。

生活福祉委員会

委員長　熊田　尚子
副委員長　パタソンひとみ
委　員　美齊津大貴
長谷川順子
金子　敏江
鳥居　誠明

飯能市地区行政センター条例の一部を改正する条例

問 免除規定見直しの経緯は？

答 市税から支出している施設維持管理費は利用していない市民の費用負担も含まれるため、受益者負担の公平性の観点から、利用者には使用料を負担いただくという考えである。

飯能市印鑑条例の一部を改正する条例

問 改正の内容は？

答 市の窓口でマイナンバーカードを利用した印鑑登録証明書の申請を可能とするもの。また、印鑑登録原票を紙ベースからデータベースでの管理とするもの。

経済建設委員会

委員長　関田　直子
副委員長　小野　まり
委　員　栗原　義幸
滝沢　修
平沼　弘
加涌　弘貴

公の施設の指定管理者の指定について（飯能市ふれあい農園施設）

問 年間の利用者数は？

答 ㈱平栗園を指定管理者として更新するもの。令和6年度の利用者数は約1万6千人で、主にバーベキュー棟の利用であった。

公の施設の指定管理者の指定について（飯能市林業センター）

問 今後の事業展開は？

答 西川広域森林組合を指定管理者として更新するもの。木育事業に力を入れており、西川材に触れられる、森林、林業を感じられる施設を目指している。

令和７年12月定例会　議決結果

■賛否が分かれた議案

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、退は退席の議員

議案番号	議席番号・議員名 / 議案名	1 小野まり	2 山口則弘	3 岩田隆弘	4 美齊津大貴	5 熊田尚子	6 長谷川順子	7 パタンンひとみ	8 武田一宏	9 関田直子	10 坂井悦子	11 栗原義幸	12 中元太	13 滝沢修	14 新井巧	15 金子敏江	16 平沼弘	17 椙田博之	18 鳥居誠明	19 加涌弘貴	議決結果
75	飯能市地区行政センター条例の一部を改正する条例	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	-	×	×	×	×	×	×	退	○	否　決
87	飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
88	飯能市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
請願3	飯能市内小中学校の給食費の無料化を求める請願	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	-	×	○	○	○	×	×	×	×	不採択

※栗原議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名	議決結果
議提６	飯能市議会政務活動費の特例に関する条例	原案可決
	第６次飯能市総合振興計画審査特別委員会設置の件	設　置
	第６次飯能市総合振興計画審査特別委員会の選任	選　任
74	行政機構の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
76	飯能市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
77	飯能市職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決
78	飯能市議会議員及び飯能市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
79	飯能市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
80	飯能市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
81	飯能市の市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
82	飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
83	飯能市手数料条例等の一部を改正する条例	原案可決
84	飯能市教育センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
85	飯能市児童福祉審議会条例の一部を改正する条例	原案可決
86	飯能市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
89	飯能市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
90	飯能市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
91	飯能市重度心身障害者医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
92	飯能市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
93	飯能市消防団条例の一部を改正する条例	原案可決
94	令和７年度飯能市一般会計補正予算（第３号）	原案可決
95	令和７年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決
96	令和７年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算（第２号）	原案可決
97	令和７年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算（第２号）	原案可決
98	令和７年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算（第２号）	原案可決
99	令和７年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算（第２号）	原案可決
100	令和７年度飯能市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決
101	令和７年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算（第２号）	原案可決
102	令和７年度飯能市水道事業会計補正予算（第２号）	原案可決
103	令和７年度飯能市下水道事業会計補正予算（第２号）	原案可決
104	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市高齢者福祉施設敬愛園）	原案可決
105	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市東吾野医療介護センター）	原案可決
106	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市ふれあい農園施設）	原案可決
107	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市林業センター）	原案可決
108	市道路線の認定について（大字青木地内）	原案可決
109	市道路線の認定について（大字川寺地内）	原案可決
110	令和７年度飯能市一般会計補正予算（第４号）	原案可決
111	令和７年度飯能市水道事業会計補正予算（第３号）	原案可決
諮問１	人権擁護委員候補者の推薦について（椙田　あさ 氏）	異議はない
諮問２	人権擁護委員候補者の推薦について（大野　美智子 氏）	異議はない
諮問３	人権擁護委員候補者の推薦について（佐藤　昌代 氏）	異議はない
112	固定資産評価審査委員会委員の選任について（清原　一平 氏）	同　意
議提７	飯能市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
	特定事件の閉会中における継続審査申し出の件（議会運営委員会・総務教育委員会・生活福祉委員会・経済建設委員会・第６次飯能市総合振興計画審査特別委員会）	申出書のとおり
	議員派遣の件	派　遣

※議案第７３号については、次ページをご覧ください。

飯能市議会政務活動費の特例に関する条例を全会一致で可決

令和8年度政務活動費を半額に

飯能市緊急財政対策（第3弾）の公表を鑑み、これまで提供してきた行政サービスや事業、公共施設を廃止・休止・縮小するなど広範囲にわたり市民の皆様に大きな負担が想定されます。議会としても、市民福祉の増進と市民生活の向上を図る観点から、その財源確保として議会予算のさらなる削減に取り組むため、令和8年度の飯能市議会議員の政務活動費の交付に当たっては100分の50を乗じて得た額に相当する額を減ずることとしました。

第6次飯能市総合振興計画審査特別委員会を設置

議案第73号「第6次飯能市総合振興計画基本構想（案）について」は、特別委員会が設置され、慎重審査のため閉会中の継続審査となりました。

委員長　鳥居　誠明
副委員長　パタソンひとみ
委　員　小野　まり　熊田　尚子
武田　一宏　金子　敏江
平沼　弘
以上7名

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

相田　あさ 氏

人権擁護委員　相田あさ氏が任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。

人権擁護委員候補者の推薦について

大野　美智子 氏

人権擁護委員　毛利淳子氏が任期満了となるので、新たに大野美智子氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。

人権擁護委員候補者の推薦について

佐藤　昌代 氏

人権擁護委員　佐藤昌代氏が任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。

固定資産評価審査委員会委員の選任について

清原　一平 氏

固定資産評価審査委員会委員高橋弘氏が任期満了となるので、新たに清原一平氏を選任することについて、全員同意しました。

市民から市議会へ提出（12月定例会）

請願

飯能市内小中学校の給食費の無料化を求める請願

提出者
飯能市社会保障を良くする会
代表　野尻　一夫
不採択（多数）

陳情

陳情書（「空き家所有者情報の外部提供に関するガイドライン」に基づく所有者了解取付に関する件等）

提出者
埼玉県宅建政治連盟彩西地区
地区長　栗原　武

陳情書（ゲノム編集食品の表示義務化を求める意見書を国に提出することを求める陳情）

提出者
飯能市消費者団体連絡会
代表　平賀　千草

市政に対する

一般質問

飯能市イメージキャラクター
夢馬（むーま）

一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。本会議における持ち時間は１人６０分以内です。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は１５人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されている二次元コードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（　　）の中は会派名です。

武田　一宏（ネクストはんのう）

緊急財政対策について

問 他市における同様の事例はあるのか。改善はされているのか。

答 本市と同様の緊急財政対策の実施や財政非常事態宣言を行う自治体は増えている。県内では新座市が令和２年10月に財政非常事態宣言を発出し、人件費や各種補助金の削減をはじめ事業全般の見直し等、徹底した取組を行い、財政状況が当面の危機から脱することができた。当該宣言は令和３年度末をもって解除している。

問 事業見直しシートはどのような基準で廃止や休止の優先順位を決定したのか。

答 法令等で市の負担割合が定められている扶助費等の義務的経費を確実に計上するため、市が任意に行っている事務事業や運営する公共施設等の予算を見送ることとした。

問 休止となる事業の期間は決まっているのか。

答 決まっていない。休止した事業の再開は現時点で極めて厳しい。

問 事前に市民へ説明はされたのか。

答 全員協議会で発表するまで関係者との話合いは行っていない。

問 事業の休止や縮小となる項目は現状の課題と見据えた方向性を示し成果指標をたて効果目標を明確にするべきと考えるが。

答 細部に至る効果目標の設定は現時点では難しいが、対策の裏付けとなる中長期財政計画を作成し作成次第速やかに公表する。

No.8

取組項目	公共施設の再編（文化・社会教育施設）	担当課	まちづくり推進課 まなび推進課
あるべき姿	本市の規模や将来を見据えた文化・社会教育施設の最適化が図られている。		
課題と方向性	文化・社会教育施設は、貴重な資料を適切に保管するための管理費用や事業を実施するための施設整備・修繕費用が負担となる中、利用者の低迷が課題となっている。各施設の実態に応じて、廃止・機能移転・先送り等を含めた再編を実施し、低コストでの運営を実現する。		
具体的な取組	・三瓶文化会館（空調の大規模修繕は見送る。事業等の開催時期を調整した運営を行う。） ・城川文書館（7年度末で廃止し、城川歴史民俗資料館に集約する。） ・古代ロマンの里ガイダンス施設（施設整備の計画を凍結する。） ・明浜歴史民俗資料館（施設の管理運営を縮小する。） ・図書交流館【城川・明浜分館】（7年度末で廃止し、中央館・野村分館へ集約する。）		

○成果指標

項目	改革前		改革後
年間経費	2,580万円	→	2,200万円

○改革効果

維持管理費・人件費
約380万円削減

○スケジュール

実施項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
三瓶文化会館	調整		運用開始（事業開催時期調整）		
文書館		調整 → 廃止	集約		
明浜歴史民俗資料館			縮小		
図書交流館		調整 → 分館廃止	集約		

愛媛県西予市財政危機脱却プラン２０２５
出典：西予市ホームページ

関田　直子（ネクストはんのう）

緊急財政対策事業見直しによる影響　ツーデーマーチ　こども図書館　緊急銃猟の考え方

問 第3弾の事務事業見直しによる削減額と今後の見通しは。

答 法令で定められた高齢者・障害者・子育て支援等の扶助費増大、人件費及び物価高騰等による影響により、見直しで約18億円削減するも令和7年当初予算と同規模。普通交付税も減額の見込み。未だ11億円不足の状況。

問 委託を止める事に対する事業者への影響について。

答 市内事業者への影響が大きいことは承知。大変申し訳なく思っているが、変えなければ財源確保が困難。職員一同で見直し、取り組む。

問 ツーデーマーチは景品や備品、コース数減を検討し縮小という考えには至らなかったのか。

答 職員による準備や調整、当日の出勤で相応の人件費が必要である事も要因の一つ。

問 こども図書館は飯能市の宝。民間との連携等検討されたか。

答 存続するとなれば他事業を廃止せざるを得ない。ネーミングライツ等財源確保案は全体的な方針として検討を進める。

問 市街地にクマが出没した際の緊急銃猟制度に対する猟友会との協力体制、銃猟の考え方は。

答 猟友会と業務委託契約を結び、有害鳥獣の捕獲及びクマ等の猛獣が出没した場合の対応に協力頂いている。猟友会との良好な関係を維持していく。一方で、ガバメントハンターも検討する。

（本人撮影）

椙田　博之（風の会）

アーバンスポーツエキシビションの経済効果は　緊急財政対策のやり方や税以外の歳入は

問 約1万3千人来場した11月16日のアーバンスポーツエキシビションの経済効果は。

答 市では詳細な分析はしてないが、会場内外で相当の経済効果に繋がったと見ている。

問 市民への影響はどうか。

答 活気や賑わいを創出するとともにスポーツの力を体感することでスポーツへの参加促進に向けた絶好の機会であった。引き続き支援したい。

問 緊急財政対策の事業見直しにより、市民から心配と不安不満の声が上がっているが。

答 多様化する行政需要に対応するための財源を捻出できず、市として大いに反省している。

問 現時点で131の事業を廃止・休止する予定だが、本当に全部やらねばならないのか。

答 これでもまだ収入と歳出が11億円以上乖離している。

問 私は以前から税以外の歳入が必要だと訴えてきたが。

答 駐車場等の有料化や未利用地の売却、ネーミングライツ等を速やかに進めていく。

問 道の駅は、精明地区ではなくミーマートと観光案内所のある国道299号沿いはどうか。

答 再検討してみたい。

問 市が土地を確保して民設民営するなら、単なる企業誘致と考えられるので、休止ではなくむしろ推進すべきではないか。

答 参考にしたい。

出典：飯能フィールドスポーツ協会

山口　則弘（日本共産党）

安心して過ごせる教育環境を
緊急財政対策見直しシートから
飯能版気候風土適応の普及を

問 保健室の養護教諭は児童生徒の心の悩みに一番近い所で見ている。複数配置が急務ではないか。

答 教職員定数に関する法律に従い配置している。今後、国の動向を注視しながら対応していく。

問 市立図書館2階45席の学習室にスマホ予約できるシステムを導入できないか。

答 スマホに不慣れな利用者のことも考慮して研究、検討していく。

問 フリースクールに通う児童生徒に交通費や体験日等の補助事業は検討できないか。

答 厳しい財政状況の中難しい。他市状況等、情報収集は行う。

問 こども図書館は全国数か所の存在でフィンランド教育を学ぶ飯能としても魅力の一つだ。休止廃止は止めるべきではないか。

答 光熱水費人件費の上昇が影響して維持管理費が甚大だ。再検討には代替財源が必要。他事業のトレードオフが不可欠となる。

問 郷土芸能保存団体の補助金休止は青少年健全育成を担う活動や祭りによるコニュニティが衰退する。休止への見解を伺う。

答 扶助費等の義務的経費を予算に確実計上するためにも避けられないと考えている。

問 森林文化都市である飯能は気候風土適応住宅の基準を策定するべきではないか。見解を伺う。

答 県との整合性を図ることが不可欠である。知見の蓄積に努め、中長期的課題として検討する。

出典：飯能市立図書館ホームページ

美齊津　大貴（風の会）

本市の地盤の良さを活かした
マーケティング

問 現在、市ホームページでも地盤が強固であることを紹介しているが、周知をより強化する事で定住人口の増加などにも寄与できるものと考える。これまでの取り組みと今後どのような周知を考えるか伺う。

答 地質は、秩父中・古生層の岩盤や飯能礫層といった硬質な地盤が地表近くまで分布しているため、飯能市の地盤は地震の揺れに対して強い構造であると言われている。本市では「強固な地盤で地震に強いまち飯能」としてプロモーションを展開し、これまで移住促進や企業誘致に繋がるよう取り組んできた。

問 地震の影響を受けにくく、企業にとってもメリットになると思う。企業の進出場所の決定には地盤の良さが決め手になりうると考えるが、企業側の話を聞いたことがあるのか伺う。

答 企業が立地場所を決定する際の決め手となるとは言えないのではないかと推測している。しかし、実際に飯能大河原工業団地内に立地した企業からは、「地震の際に揺れを感じなかった」という声をお聞きし、本市の地盤の強固さを実感し自然災害と言う面では安心されている。

出典：飯能市ホームページ

新井　巧（日本共産党）

財政危機を乗り越えるためには冷静な分析が必要

問 116億円の合併特例債が財政を圧迫してきた。34億円は一般財源。この間にどんな事業をしてきたか検証が必要。27億円をかけての飯能大河原線、ノーラ名栗に4億円、メッツァに2億円など大盤振る舞い。加えて阿須山中の山林買い戻しなども財政を圧迫してきたのではないか。21億円で買い戻した阿須山中を年間2億円もの売電収入を上げているソーラー企業に月10万円で貸し続けていることなど見直しなしに市民に負担をしいることは理解できない。

答 合併特例債は合併後の新しいまちづくりに有効に活用してきた。

問 財政危機でも財政調整基金を20億円確保するというのは無理があるのではないか。

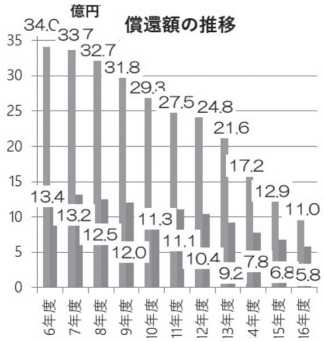
答 財政調整基金に頼らない予算編成で財調を確保していく。

問 財政健全化指標からみても、破綻するような危機にあるか。

答 財政健全化指標は健全。破綻するような危機にはない。

問 今後、合併特例債も令和2年をピークに減っていく。30億円以上の返済で大変だと言うが臨時財政対策債は交付税の代替財源。含めないで考えるべきだ。多くの施設を休止・廃止してしまう状況にはない。

答 臨財債は直接市財政を圧迫するものではない。市税の大きな伸びは期待できず歳出は右肩上がりで増えており改革は必要。



濃い棒グラフは返済に直接影響しない臨時財政対策債（飯能市資料に基づき本人加工）

平沼　弘（風の会）

「学びの共同体」の成果は森林の形態と間伐の必要性は観光の魅力を高める景観伐採は

問 教育で自慢できる特徴と成果は。

答 学びの共同体が創る21世紀型の学校を目指し、「創造的・探求的・共同的な学び」である。児童生徒に自ら学ぼうとする力が付いてきている。市内の全教職員の指導助言に努める。

問 市の森林の82％を占める人工林は約3，100万本あり、そのほとんどが拡大造林で植林され伐期をむかえているが、間伐されていない未整備の森林が約9割あると推測される。市の見解と現ペースで間伐をすると、あと何年かかるのか。

答 民有林において、木材価格等の低迷から未整備の人工林が多くあることは認識している。西川材の産地として、良質材を生産するためには間伐は必要であり、森林環境譲与税等を利用し行っているが、年間約60haの整備で後180年掛かる計算になる。

問 奥武蔵はトレイルランニングのコースとして好評であり、年間6団体1万名以上のランナーが大会に参加しているが、多くのランナーやハイカーが景観が悪いと指摘している。観光地としての魅力を高めるため、関八州見晴台と伊豆ヶ岳周辺の景観伐採をしたらどうか。

関八州見晴台の現状（本人撮影）

答 木の成長により、眺望が悪いのは認識している。市有林は可能であるが、民有林は地元の人々と協力して、景観整備を進めていきたい。

岩田　隆弘（無所属）

将来ビジョンと財政対策を問う
久下六道線休止と判断の経緯
自主財源の確保策

問 将来ビジョンについて、子どもたちにはどのような飯能市の未来像を伝えているのか。

答 教育現場では、人権が守られ、誰もが安心して暮らせる社会の担い手となるよう教育している。

問 10年後の飯能市をどのような姿として描いているのか。

答 地域資源を生かし、地域特性に応じた施策を進める。交流人口と定住人口の双方を意識し、住み続けたいまちを目指す。

問 厳しい財政状況の中で、その将来像は実現可能なのか。

答 財政状況は厳しいが、持続可能な行財政運営に転換することで、将来につなげていく考えである。

問 久下六道線拡幅工事について、これまで継続とされてきたが、今回休止となった理由は何か。

答 安全性向上の考えに変わりはないが、緊急財政対策の中で他事業への影響を考慮し、やむを得ず休止とした。

問 事業見直しだけでは市民サービスの縮小につながる。歳入を増やす取組も必要ではないか。

答 歳出抑制に加え、ふるさと納税など自主財源確保にも一層取り組む。

問 本市のふるさと納税は工夫次第で改善の余地がある。具体的な数値目標を掲げ、取組を進めるべきではないか。

答 新たな体制のもと、3年後3億円を目標に寄附額の増加を目指し、取組を進めていく。

（本人撮影）

長谷川　順子（無所属）

名栗小学校の取り組み
新設私道アミューズメントロードと阿須山中土地有効活用事業

問 名栗小学校の児童数が増加傾向にあるが、どんな取り組みをしているのか。

答 地域の人、物、自然を最大限活かした教育で他校では体験できない特色ある学校づくりを進めている。

問 県内外から学校見学に来るなど、入学、転入を希望する児童たちがこの学校を選ぶ理由は。

答 あるがままでいられる学校を目指し、子どもたち一人ひとりの個性を大切にしている。

問 新設私道阿須山中アミューズメントロードと阿須山中メガソーラー事業は一体開発であるとの指摘を市はこれまで否定してきたが、両事業の事業主体が関わる地上権売買の締結日と停止条件付太陽光発電事業譲渡契約書の締結日が完全に一致している。さらに太陽光発電地内4筆、アミューズメントロード8筆全てが、現阿須山中事業主体の一つである㈱BSPであることから、両事業は一体開発だと思われる。さらに都市計画法開発許可を逃れるために分割したという疑惑について、市はどのような見解を持っているのか。

阿須山中メガソーラー事業と一体開発が疑われる
阿須山中アミューズメントロード（本人撮影）

答 阿須山中土地有効活用事業の開発区域と私道の整備区域では距離的にも離れていることなどから一体とみなすものではないと過去、市長が答弁している。それ以上の答弁はないものと考えている。

小野　まり（国民民主党）

緊急財政対策下の財源確保策と森林環境譲与税　積極的な公民連携　中藤地区連続空き巣事件

問 財源確保策の一つとして「法定外税」の新設は考えないのか。

答 自主財源の安定的確保が重要であることから、他自治体の状況等を研究していきたい。

問 森林環境譲与税は一般財源とは異なるはず。なぜ林業関係の事務事業まで見直すのか。

答 緊急財政対策プランでは総人件費を抑制していくことを方針のひとつとしているが、森林環境譲与税を財源として実施する事業であっても、それに従事する職員人件費は異なるため。

問 新保健センターの外観を西川材の活樹の場としてはどうか。

答 現在、市と東京電力パワーグリッド㈱の間で詳細な内容を協議、確認中である。

問 国が推進している「スモールコンセッション」（小規模PPP／PFI）を主軸に市が所有する廃校や公共施設などの遊休不動産を活用し、地域資産を「負債」から「財産」に変えることに注力すべきでは。

答 中長期的な視点では幅広い分野で公民連携の拡充を目指す。

問 中山間地域や山間地域は自治会の高齢化や会員減少などで防犯カメラの補助金に対応できない地域も多いが。

答 市窓口で対応している。また警察等の関係機関と連携しながら、自治会や関係団体と共に犯罪を未然に防ぎ、安全安心なまちづくりを推進していく。

「西川材を活かした新保健センターのイメージ提案」出典：㈱乃村工藝社

熊田　尚子（公明党）

緊急財政対策　こども図書館　乳幼児の福祉避難所　避難所整備・福祉の住宅施策

問 緊急財政対策は決定事項を突きつけた印象。「丁寧な説明と合議の場」を設けるべきでは。

答 今回の見直しは歳出転換のための早急かつ最低限の水準と認識。来年早々に市民へ説明機会を設けるよう日程・内容を調整。

問 日本に誇れる、こども図書館の存続努力、休館後の維持方針は。

答 こども図書館の見直し内容を再検討するとなれば新たな財源確保のトレードオフは不可欠。

問 公民連携の取り組みは重要。事務事業の見直しとともに、具体的な取り組みを示してほしい。

答 包括的民間委託を検討。サウンディング型市場調査を積極的に導入し、民間事業者の理解促進や参入意欲の向上につなげる。

問 乳幼児の福祉避難所の市の対応、民間施設の指定の状況は。

答 災害状況に応じて、公立保育所・子育て総合センターなどを一時的に二次避難所として利用することは可能。民間については、関係部署と検討していく。

問 能登半島地震で有効だった災害時用寝袋兼敷物「おまもりぶくろ」の導入を検討しては。

答 有効性、効率性の高い備蓄品のひとつとして検討していく。

問 セーフティネット住宅の情報が伝わりにくい。周知・啓発を。

答 各部署と連携した情報共有、支援する立場の方への情報提供、要配慮者に届くよう周知方法を見直し、活用しやすくしていく。

災害時用寝袋兼敷物「おまもりぶくろ」（本人撮影）

中元　太（公明党）

緊急財政対策は3、4年掛けて
山間地域を取り残すのか！
飯能まつりは飯能人の魂魄だ

問 財調の確保は短期ではなく中長期で考えるべき。市民に皺寄せがあり過ぎるのではないか。

答 歳入確保と歳出抑制に緊急的・集中的に取り組むことを市として決断した。

問 山間地域特有の事業がある。通学補助や市に代わって行ってくれている諸団体の拠点や補助、避難所を廃止・休止・縮小することは断じて許されない。

答 補助等は適正な予算規模を見極め継続できるよう検討する。地域活動や共助の取組は止まることがあってはならない。丁寧に協議し拠点等も可能な限り支援し続ける。

問 図書館分室等はゼロ予算で継続できるのではないか。

答 考えられる。予算編成を進める中で関係部署と協議していく。

問 地区行政センター等、突然の有料化はとても考えられない。

答 説明会など丁寧に実施し、ご理解をいただきたいと考えている。

問 飯能まつりは飯能人の魂魄であり、魂ではないか。中止はありえない。

答 財政支援は難しいが市として引続きできる限りの協力はする。

問 事務事業を見直しする前に人件費の削減、基金の活用、市有資産の活用、都市計画の見直し等すべき事をしてからではないか。

答 最終決定ではない。見直しもある。しかし、市民の幸福の為、市長としての責任で決断した。

（本人撮影）

パタソンひとみ（参政党）

緊急財政対策　財源不足への対策
気候風土適応住宅　農地中間管理機構

問 事業ベースで18億円の歳出削減となる事業見直しの廃止、休止の判断基準は。

答 聖域なく全ての事業を実績や成果等を検証し、必要な事業であってもやむなく選別を行った。

問 コロナ禍の厳しい状況を市民の皆さんと支えてきた飯能まつり、ツーデーマーチ、奥むさし駅伝、青少年の主張の大会、「なくさないで」と呼びかける小学生の思い、その存在に助けられたこども図書館、名栗地区の公共施設の休止廃止は、市民、市政に多大な影響を与える。継続させたい市民の想いへの対応は。

答 財政的支援はできないが、協力できるものは支援協力する。

問 ブックスタート事業のガバメントクラウドファンディングの成果と今後の取組は。

答 想定以上の結果が得られた。財源確保策の一つとして全庁的に検討してまいりたい。

問 地域風土に適した住宅等全ての建築物が全国一律の基準制定により建てられなくなった状況に伝統技術の継承や西川材普及に繋がる気候風土適応住宅の飯能市の基準制定の取組方針は。

答 伝統構法と省エネ性能の両立の先行事例を注視し検討していく。

問 今年度の法改正による農地中間管理機構を通しての農地の集約や集積が進むと期待されるが。

答 安心して貸借ができる制度になり、今後の効果を確認していく。

ホーム > お知らせ > ブックスタート事業におけるガバメントクラウドファンディングにご協力をお願いします！！

ブックスタート事業におけるガバメントクラウドファンディング®にご協力をお願いします！！

「赤ちゃんに本との出会いを！」～絵本の購入費用へのガバメントクラウドファンディング®～

ブックスタート事業を通じて、赤ちゃんの成長を応援してください！

飯能市立こども図書館は、全国でも珍しい「こどもに特化した図書館」として開館から28年を迎えました。

令和4年度からは新たな取り組みとして「飯能市ブックスタート事業」を開始し、市内で生まれたすべての赤ちゃんとその保護者に、読み聞かせとともに「はじめての絵本」を届けています。まだ開始から4年目の事業でありながら、成果を強み重ねている段階ではありますが、将来の図書館親や親子の関わりを支える大切な第一歩になることを願い、取り組みを続けています。

今回のガバメントクラウドファンディング®は、赤ちゃんが初めて出会う絵本の購入費用等にご支援いただき、この取り組みを未来へとつなげるためのものです。

飯能市の未来を担うこどもたちへ、温かなご支援をどうぞよろしくお願いいたします。　出典：飯能市HPより

出典：飯能市ホームページ

滝沢　修（日本共産党）

奥むさし駅伝、ツーデーマーチ あけぼの子どもの森公園などの事業の縮小・中止について

問 奥むさし駅伝は、1952年に第1回大会が開催され、中断はあったが、令和8年1月には74回目の大会が予定されている。まさに伝統ある駅伝競走大会だが休止となっている。新緑ツーデーマーチは令和7年に22回目の大会となり、約7千人が参加しているが、これも休止となっている。あけぼの子どもの森公園については1日3千人から4千人も訪れている日もあるが事業の縮小、休止となっている。検討状況は。

答 事務事業見直し検討シート第3弾では、奥むさし駅伝、ツーデーマーチの委託料は見送り休止とした。子どもの森公園は必要最低限の状態で継続するよう検討している。

問 3点の事業について伺ったが、他にも飯能市のシンボル的な事業があり、財政が厳しいとの事で休止すれば、市民をはじめ市内外からも飯能市のもつ魅力が失せてしまうのではないか。

答 市として苦渋の決断である。

問 緊急財政対策下で第6次飯能市総合振興計画策定が進められている。事業の休止、廃止が続けば計画で描く将来都市像は机上の空論となるのではないか。

答 休止、廃止の方針とした事業もあるが、他の事業継続をはじめ、5つの基本目標に着実に取組むことにより実現に向け進めていく。

トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園（本人撮影）

金子　敏江（日本共産党）

下水道料金値上げに続いて水道料金も値上げに？改善求める！

問 令和7年10月から平均25％の下水道料金の値上げに続いて飯能市は、令和9年4月からの水道料金値上げを水道審議会に諮問した。子育て世帯や飲食店など小規模事業者からは物価高騰の中、これ以上の値上げはやめてほしいという声が寄せられている。日本共産党市議団では、施設の老朽化対策や更新費用に国庫補助金の大幅な増額を求めつつ、実際の水道料金の値上げ幅を最小限に抑えるためにいくつかの提言を水道審議会にも提出してきたが、検討してほしい。①12万人都市構想によって大規模な施設をつくったが人口は増えず施設の稼働率は半分程度。施設の過大投資分は料金算定から除くこと。②令和6年度決算時点の内部留保金約6億3千万円の一部を取り崩し値上げを抑えること。③口径13㎜と20㎜の使用者（一般家庭や飲食店等）への水道料金は、大口使用者の料金を増やす料金体系へと見直しをおこない値上げを抑えるよう求めるものだがどうか。

答 現在の料金体系は平成27年度に改定したもので見直す考えはないが今後の大規模な更新費用を料金収入で負担すると高額な水道料金になってしまうので、施設の更新需要を的確に把握した上で更新費用の平準化による改定案を示したものである。

総務教育委員会

石川県　小松市（10月20日）
旧西尾小学校跡地活用事業について

旧西尾小学校の跡地を滞在交流施設としてリノベーションし、㈱スーパープロジェット社により運営されているオーベルジュオーフ観音下西尾を視察した。建物の施工にかかる費用や運営にかかるコストなどは全て運営事業者が担い、開業以降市が補助をしたことはなく、学校用地のため固定資産税の収入は見込めず施設運営によって直接市の収益にはならないが、新規観光客の獲得や市のプロモーションに効果があるとのことだった。

昨今、増加傾向にある小規模自治体PPP（スモールコンセッション）の事例として大変参考になるものであった。

富山県　滑川市（10月21日）
公民連携事業の取組について

滑川市では、市職員からの提案により公民連携課が設立され、民間活力による事業創出を推進している。民間事業者独自のアイデアで社会・地域課題等の解決を目指す民間提案制度や公民連携パートナー制度を設けていること、公民連携課では市職員以外に地域おこし協力隊を起用するほか、担当者ごとに得意分野を個々で業務にあたっていること、富山県でも小規模自治体の公民連携を推奨しており、県主催による民間事業者と自治体のマッチングイベントを滑川市で実施するなど県との連携を強化していた。

民間提案により市の予算を使わずに地域課題を解決する仕組みは本市にとって非常に参考になるものだった。

小松市を視察

生活福祉委員会

兵庫県　尼崎市（10月21日）
再犯防止と重層的支援について

尼崎市では、切れ目のない支援に向けて、令和4年3月に「尼崎市再犯防止推進計画」を策定し、重層的支援推進事業の枠組みの中で罪を犯した人の伴走的支援を進めている。相談支援の拠点として、保健と福祉が一体となった南部・北部保健福祉センター、地域づくりの拠点として、学びと活動の拠点となる小田南生涯学習プラザを整備し重層支援を進めている。重層的支援推進担当を中心に、司法関係や各部署との連携を推進することで、様々な生きづらさを抱え、犯罪や非行をした人が、罪を繰り返さないよう、課題に応じた様々な支援機関と連携して支援している。

これから重層的支援体制を進めていく本市にとっても参考となる有意義な視察となった。

兵庫県　高砂市（10月22日）
再犯防止と更生保護について

高砂市では、再犯防止の取組を推進するため、令和5年度から5年間の「高砂市再犯防止推進計画」を策定している。犯罪や非行防止のための相談窓口として更生保護サポートセンターを設置しており、運営は高砂市保護司会が行い、担当保護司が保護観察対象者の住居支援や就労支援、生活上の助言・指導など相談に応じている。教育に力を入れ、社会を明るくする運動作文コンテストを積極的に推進し、昨年度は市内小中学校から238作品の応募があり、犯罪や非行について考えたことや感じたことを表現し、運動への理解を深めている。

地域で見守り支える、あたたかい心が伝わってくる取組となっている。

尼崎市を視察

先進事例の調査視察

経済建設委員会

兵庫県　宍粟市（10月22日）
森林セラピーについて

　宍粟市は平成27年兵庫県内初の森林セラピー基地と認定され、コース整備・トレーナーの育成等を経て、現在3箇所のセラピーロードが整備されている。メンタルヘルス対策のニーズに注視し、事業推進の目的を都市部企業従業員が日々のストレス解消となる体験を提供することとし、森林での様々なプログラムを構築している。また、県内最大の森林資源を多様な手法で活用し地域経済の振興につなげたい考えである。ここ数年、利用者の減少や森林セラピーと親和性のあるメニューが不足しており資源の発掘が課題となっている。

　広大な森林を持つ本市も、新たなアプローチの森林活用として参考になる取組と感じた。

滋賀県　彦根市（10月23日）
空き家対策について

　彦根市空家等対策計画では具体的施策として「発生抑制」「適正管理」「利活用」「特定空き家等に対する措置」で、自治会と連携して管理不全空き家のチェック、社会福祉協議会による「ふくし活動応援空き家バンク」との連携、そして、地元の不動産業者、建築業者等が参画している商工会議所内の団体に外部委託している「空き家バンク」の運営等様々な取組を行っている。空き家は老朽化が進行するほど除去コスト、所有者探索に手間がかかる為、深刻になる前に対応し一定の効果があるとのこと。

　空き家対策は生活環境の保全と地域活性化に資する為、本市においても更なる取組を推進すべきであると感じた。

宍粟市を視察

請願・陳情の提出方法について

・・・市民の声を市政に・・・

市政などについての意見や要望を議会に提出することができます。このことを請願または陳情といいます。

　請願は、紹介議員(2名または3名)が必要で、議会の審査対象となり、担当の常任委員会で慎重に審査し、本会議において採決を行います。

　陳情は、紹介議員は必要ありませんが、原則として議会の審査対象にはならず、議場に陳情の写しを配付するのみとなります。

　なお、住所・氏名・内容等が市議会だより等で公開されますので、ご了承ください。

提出先　飯能市議会事務局(市役所本庁舎4階)

署名簿

住　所	氏　名	印

本文

〇〇〇に関する請願

（趣旨）・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・

　以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

令和 年 月 日
　住所
　氏名　　　　　　　　㊞
　　　　　　　　　外〇名

紹介議員　◇◇◇◇
　同　　　▽▽▽▽
　同　　　□□□□
飯能市議会議長 〇〇〇〇様

もっとはんのう市議会
令和8(2026)年 2月1日号 No.178

サイクリストを惹きつける魅力の名栗路

次回の3月定例会は

2月27日開会予定

会期日程等は2月24日頃内定します。

議会を見よう！

本会議の映像を録画配信しています。

議会を聴こう！

本会議や委員会は公開しています。

議会を読もう！

本会議の会議録を公開しています。

議会を調べよう！

会議情報を掲載しています。

編集後記

多くの市民の皆さまにとって、この度の「緊急財政対策プラン」は、突然のことで戸惑われていることと思います。議会でも多くの議員が一般質問などを通じ、様々な疑問を呈しました。この「もっとはんのう市議会」では、緊張した議会の雰囲気や真剣な一般質問の模様を、できるだけ端的に分かりやすく市民の皆さまにお伝えできるよう、委員全員で話し合い、その編集方針を決めています。これからも市政が身近に感じていただけるように、委員一同努めてまいります。紙面に対する市民の皆さまからのご感想なども励みになります。どうぞよろしくお願いいたします。

（小野）

広報委員　委員長　長谷川順子
副委員長　パタソンひとみ
委員　小野　まり　山口　則弘
岩田　隆弘　美齊津大貴
熊田　尚子　武田　一宏
滝沢　修　鳥居　誠明

表紙の風景

精明地区まちづくり推進委員会では、飯能おやじの会をはじめとする各種団体と連携し、地域を元気にする活動を実施しており、大鍋豚汁や餅つきなどは新年の風物詩となっています。

（武田）

ボートレース戸田開催日（埼玉県都市ボートレース企業団主催分）**1/30~2/2、3/7~3/12、3/28~3/31**
お問い合わせ先　埼玉県都市ボートレース企業団事務局　TEL048-823-8711（収益の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。）

《発行》飯能市議会
☎042-973-2686《編集》市議会広報委員会　飯能市大字双柳1-1
UD FONT
※ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。